

令和7年産 兵庫県産主食用米生産目安の算定・提供方針 について

令和6年11月 兵庫県農業活性化協議会

令和7年産兵庫県産主食用米生産目安については、「兵庫県内の主食用米における生産目安算定・提供方針(平成29年11月24日策定、令和3年12月9日改定)」に基づき、令和6年度兵庫県農業活性化戦略会議からの提言を踏まえて、算定・提供する。

兵庫県内の主食用米における生産目安算定・提供方針

平成29年11月24日策定

令和3年12月9日改定

兵庫県農業活性化協議会

1 趣旨

兵庫県農業活性化協議会(以下、県協議会)は、平成30年産から始まる米政策見直し後も、生産現場が混乱することなく、県産米の需要に応じた生産が推進されるよう、作付判断の参考となる生産目安を算定・情報提供する。これにより、地域の関係者や生産者の適切な作付判断を後押しし、県産米の需要に応じた生産の実現に資する。

2 算定にあたっての考え方

(1) 全国の米の需要動向を踏まえつつ、県産米に対する需要を捉えて算定する。

(2) 生産目安の対象は、主食用米とする。

主食用米のうち、契約栽培等で実需と結びついた生産は、必要な生産量が決まっているため、生産目安の中で区分して示す必要があるが、取組が十分に広がるまで進展状況を見ながら、当面は生産目安の中で一体的に扱う。

一方で、酒造好適米(酒米)は、J Aグループを中心に全量が契約栽培で酒造業界の需要と直結した生産が行われていることから、契約数量と別に生産目安を提供する意味がなく、また用途も主食用と異なるため、生産目安から除く。

なお、酒米の需要に応じた生産については、別に主産地を抱える地域農業再生協議会(以下、地域協議会)と協力して、地域の関係者や生産者が混乱なく適切な作付判断ができる環境づくりに努めていく。

(3) 主食用米の各市町の作付実績、各地域協議会の作付意向などを調査し、地域の状況を可能な範囲で勘案して算定する。

(4) 生産目安は、県全体の目安(以下、県域目安)と市町単位で設置する地域農業再生協議会(以下、地域協議会)ごとの目安(以下、地域別目安)の両方を算定する。

3 算定方法

(1) 県域目安

ア 生産前年度の11月末時点で「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」により示された全国の米の需給見通しに、全国の主食用米収穫量に占める兵庫県の割合の過去7年分のうち最高・最低を除く5年分の平均(7中5)を乗じてベースとなる数値を算定する。

イ アで算定した数値について、全国の作付状況・作況等や県協議会が実施する県産米の需要動向調査の結果(県産米の需給動向)や農地の利用状況、他作物の生産状況等を踏まえた主食用米の生産余地を総合的に判断して調整する。

ウ 総合的な判断には、同じ土地利用型作物であり、従来から需要に応じた生産が進められてきた麦、大豆、非主食用米(酒米、加工用米等)等の生産を後退させることがないよう配慮する。

(2) 地域別目安

ア (1) のアにより算定したベースの数値を地域協議会ごとの過去の作付実績により分配する。

イ (1) のイにより調整した数値を県産米の需要動向調査の結果(品種別・産地別等の地域別の需給動向) や農地の利用状況、他作物の生産状況等を踏まえた主食用米の生産余地を総合的に判断して調整する。

その際、地域協議会一律での調整は行わず、産地や品種別の需要内容や地域特産物の生産への影響に配慮する。

4 提供方法

(1) 提供時期

生産目安は、生産前年度の12月に算定し、算定後速やかに情報提供する。

(2) 提供先

県協議会から各地域協議会に情報提供するとともに、県協議会のホームページでも公表する。

5 地域での利用の考え方

県協議会から各地域協議会に提供する生産目安は、情報提供という性格上、その利用方法については各地域協議会の判断に委ねるものとするが、利用にあたっては生産目安算定の趣旨に基づき、地域の関係者や生産者の適切な判断材料となるよう、例えば地域別目安をさらに集落ごとや生産者ごとに細分して情報提供する等地域の事情や生産現場の混乱回避に十分配慮するよう、県協議会から地域協議会に要請する。

令和7年産兵庫県内の主食用米における生産目安算定の考え方

令和6年11月 兵庫県農業活性化協議会

「令和6年産生産目安の算定・提供方針」に基づき、令和7年産の県域及び地域の生産目安を下記の考え方により算定する。

1 県域目安

- (1) 生産前年度の10月に公表された「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」(以下、「国の基本指針」という。)により示された全国の米の需給見通しにおける令和7年産主食用米等生産量に、全国の主食用米収穫量に占める兵庫県の割合の過去7年分のうち最高・最低を除く5年分の平均(7中5:概ね2.4%)を乗じて、ベースとなる数値を算定。

基本指針に基づく 主食用米等生産量	兵庫県	対前年		全国	対前年	
令和5年産米	159,911 t	▲ 197 t	99.9%	661 万t	▲ 14 万t	97.9%
令和6年産米	163,420 t	3,509 t	102.2%	683 万t	22 万t	103.3%
令和7年産米	164,467 t	1,047 t	100.6%	683 万t	0 万t	100.0%

- (2) (1) で算定した数値から、令和6年産の酒造好適米(枠内)相当の数量を控除。

兵庫県相当分	164,467	t
うち酒米(枠内)	23,700	t
生産目安(基礎数量)	140,767	t

(R6基礎数量:137,339tとの差 3,428 t)

- (3) (2) で算定した数値に、県協議会が実施した県産米の需要動向調査の結果(県産米の需給動向)(ア)や、各市町地域協議会に対する「令和7年産主食用米生産目安に関する調査(以下、「目安調査」という。)」(イ)、農地の利用状況、他作物の生産状況等を踏まえた主食用米の生産余地等を、総合的に判断して調整。

【調整の考え方】

国の基本指針では、1人当たり消費量の減少傾向(▲10万t/年)で令和7/8年の需要量を663万トンと見込む中で、令和7年産主食用米等生産量は、令和6年産と同水準の683万トンと設定している。

本県の令和6年産主食用米作付実績は、担い手の高齢化による作付減少や、自然かい廃などにより、県全体では生産目安と比べて減少した。

本県の民間在庫量は、昨年度に比べ減少し、県産米相対取引価格も上がっており、県産米の需要は上昇傾向である。

県内集荷業者に対する調査の結果、県産米への需要は、前年度より取扱量を増やしたいとの意向であった。

以上の状況及び各市町の作付意向等を勘案し、生産者の経営安定を図りながら、県内需要に応える量として、令和7年産生産目安(県域)を令和6年産生産目安同等の150,000tとする。

	数量	面積換算値
令和7年産生産目安	150,000 t	29,940 ha

<参考>

	数量	面積換算値
令和6年産 生産量	139,964 t	27,775 ha
令和6年産 生産目安	150,000 t	29,940 ha
生産目安と生産量の差	10,036 t	2,165 ha

2 地域別目安

地域別目安については、令和7年産主食用米生産目安に関する調査を踏まえ、下記のとおり算定する。

(1) 令和7年産生産目安を「減らすべき」との意向の市町

ア 令和6年産生産量が令和6年産生産目安を下回る市町

(ア) 令和6年産生産量と生産目安の乖離率が1%未満の場合は実際的な乖離がないものとして令和6年産生産目安を維持。

(イ) 乖離率が1%以上の場合は、乖離率から1%を控除した率により、令和6年産生産量から追加して算定。

計算式：令和6年産生産量×(1+(−乖離率−1%))

イ 令和6年産生産量が令和6年産生産目安を上回る市町

令和6年産生産目安を維持。

(2) 令和7年産生産目安は令和6年産と「同水準」との意向の市町

令和6年産生産目安を維持。

(3) 令和7年産生産目安を「増やすべき」との意向の市町

ア 令和6年産生産量が令和6年産生産目安を下回る市町

令和6年産生産目安を維持。

イ 令和6年産生産量が令和6年産生産目安を上回る市町

(ア) 令和6年産生産量と生産目安の乖離率が1%未満の場合は実際的な乖離がないものとして令和6年産生産目安を維持。

(イ) 乖離率が1%以上の場合は、乖離率から1%を控除した率により、令和6年産生産目安から追加して算定。

計算式：令和6年産生産目安×(1+(乖離率−1%))

(4) 全体調整

上記(1)~(3)の調整に加え、県全体の生産目安を鑑みて、市町の意向を参考にしながら、県活性化協議会が調整する。

令和7年産市町別主食用米の生産目安（全体数量及び面積換算値）

兵庫県における主食用米の生産目安
（同面積換算値）

150,000 玄米トン
29,940 ha

市町名	令和7年産市町別主食用米の生産目安		（参考） 令和6年産 生産目安面 積との比較 ha
	玄米トン	面積換算値 ha	
神戸市	9,656	1,886	0
尼崎市	168	35	0
西宮市	281	59	0
芦屋市	4	1	0
伊丹市	178	36	0
宝塚市	801	163	0
川西市	213	43	0
三田市	4,724	935	0
猪名川町	847	173	0
明石市	1,420	274	0
加古川市	5,499	1,038	0
高砂市	529	103	0
稲美町	4,080	779	0
播磨町	101	20	0
西脇市	1,405	287	0
三木市	3,103	642	0
小野市	4,811	931	0
加西市	8,032	1,554	0
加東市	3,618	721	0
多可町	2,211	473	0

市町名	令和7年産市町別主食用米の生産目安		（参考） 令和6年産 生産目安面 積との比較 ha
	玄米トン	面積換算値 ha	
姫路市	9,111	1,794	0
神河町	1,578	336	0
市川町	1,779	363	0
福崎町	1,559	306	0
相生市	860	168	0
赤穂市	1,978	382	0
上郡町	2,006	396	0
佐用町	3,395	689	0
たつの市	6,315	1,201	0
宍粟市	4,286	893	0
太子町	936	180	0
豊岡市	12,874	2,559	0
香美町	2,306	478	0
新温泉町	2,447	502	0
養父市	3,251	663	0
朝来市	4,500	905	0
丹波篠山市	10,745	2,166	0
丹波市	13,147	2,750	0
洲本市	3,810	749	0
南あわじ市	7,306	1,452	0
淡路市	4,422	877	0

※端数処理しているため、各市町の数値の合計と県全体数値は一致しません。